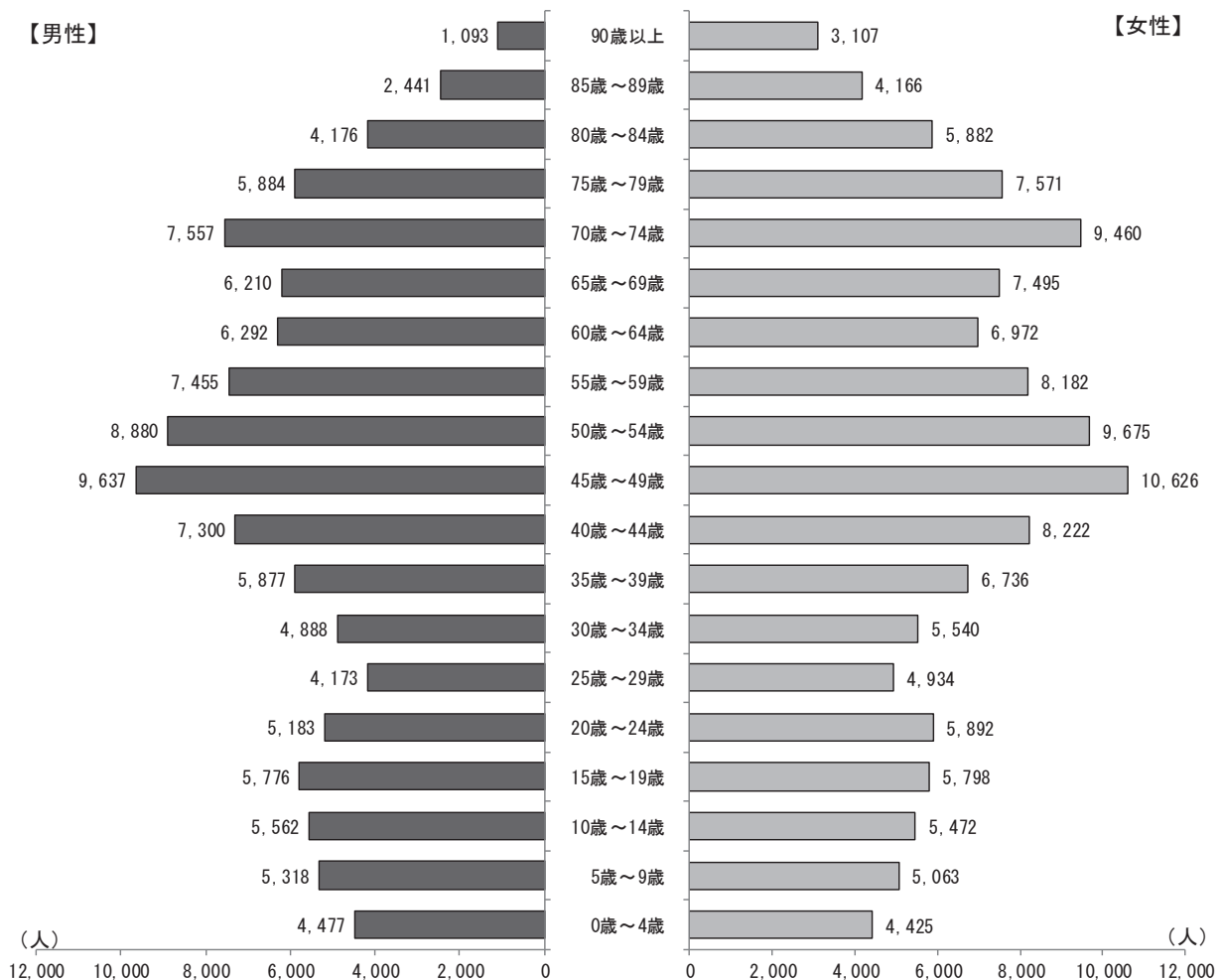


第2章 高齢者を取り巻く状況

1 宝塚市の高齢者を取り巻く状況

(1) 現在の人口

令和2年（2020年）9月末の人口をみると、男女ともに45～49歳が最も多く、男性9,637人、女性10,626人となっています。



※資料：住民基本台帳 令和2年（2020年）9月末日現在

イ 高齢者人口の推移

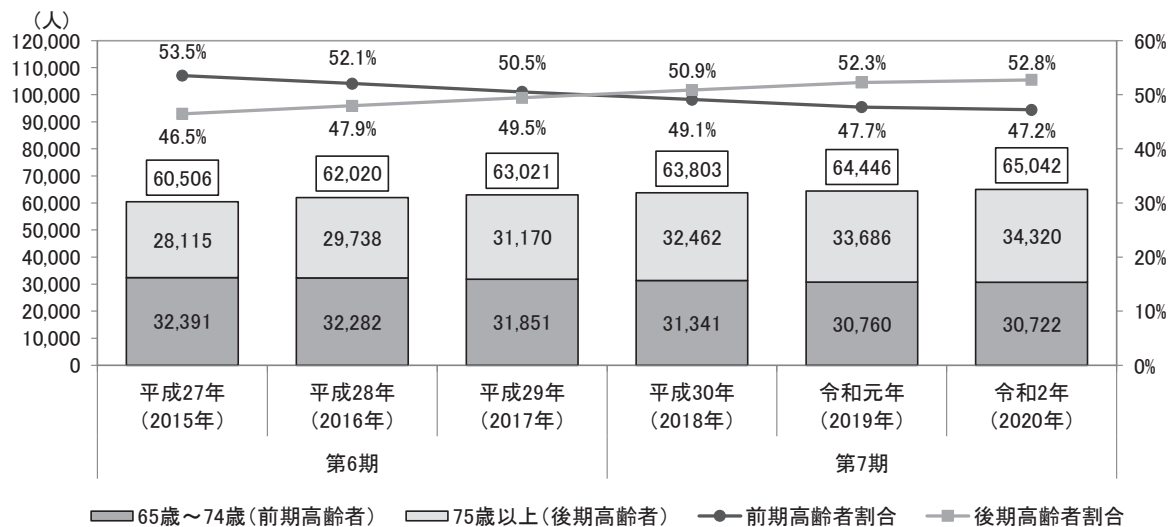
高齢者人口の推移をみると、前期高齢者は減少傾向、後期高齢者は増加傾向にあり、令和2年（2020年）では前期高齢者が30,722人、後期高齢者が34,320人と、平成27年（2015年）から前期高齢者1,669人の減少、後期高齢者6,205人の増加となっています。

高齢者人口に占める前期高齢者、後期高齢者の割合は、平成30年（2018年）に逆転しています。

第7期計画における計画値と実績値を比較すると、総人口は計画値よりやや少なく、高齢者人口は概ね計画値どおりに推移しています。

単位：人

区分	第6期			第7期		
	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)
高齢者人口(65歳以上)	60,506	62,020	63,021	63,803	64,446	65,042
65歳～74歳(前期高齢者)	32,391	32,282	31,851	31,341	30,760	30,722
75歳以上(後期高齢者)	28,115	29,738	31,170	32,462	33,686	34,320
高齢者人口に占める前期高齢者割合	53.5%	52.1%	50.5%	49.1%	47.7%	47.2%
高齢者人口に占める後期高齢者割合	46.5%	47.9%	49.5%	50.9%	52.3%	52.8%



※資料：住民基本台帳 各年9月末日現在

単位：人

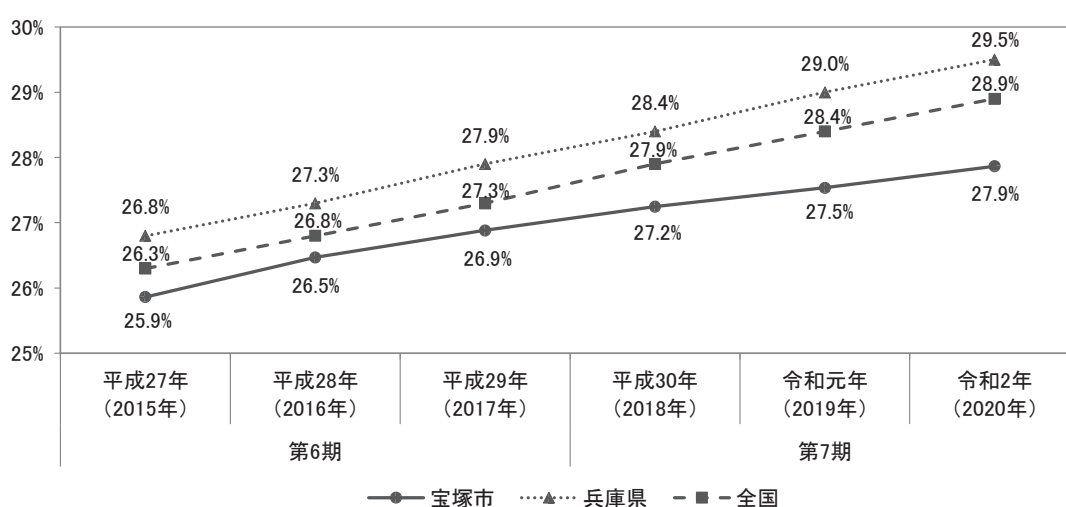
区分	平成30年 (2018年)		令和元年 (2019年)		令和2年 (2020年)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
総人口	234,628	234,167	234,649	234,045	234,568	233,397
高齢者人口(65歳以上)	63,856	63,803	64,463	64,446	65,096	65,042
65歳～74歳(前期高齢者)	31,351	31,341	30,727	30,760	30,671	30,722
75歳以上(後期高齢者)	32,505	32,462	33,736	33,686	34,425	34,320
高齢者人口に占める前期高齢者割合	49.1%	49.1%	47.7%	47.7%	47.1%	47.2%
高齢者人口に占める後期高齢者割合	50.9%	50.9%	52.3%	52.3%	52.9%	52.8%

ウ 高齢化率の比較

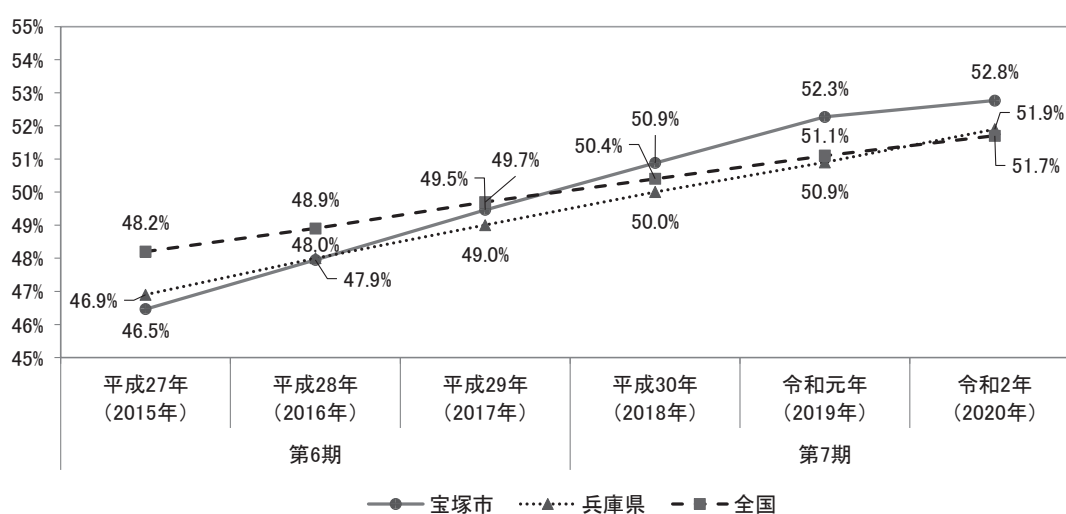
本市の高齢化率は、全国、県と比べて低くなっています。平成27年（2015年）から令和2年（2020年）にかけての伸び率も、全国や県と比べて緩やかになっています。

また、高齢者に占める後期高齢者の割合の推移では、平成27年（2015年）では全国、県と比べて低くなっていましたが、その後、急増を続け令和2年（2020年）においては52.8%となっており、高齢化率は低い水準にある一方で、後期高齢者の割合は高くなっています。

高齢化率の推移



高齢者に占める後期高齢者の割合の推移



※資料：市は住民基本台帳 各年9月末日現在

兵庫県、全国は総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(3) 将来推計人口

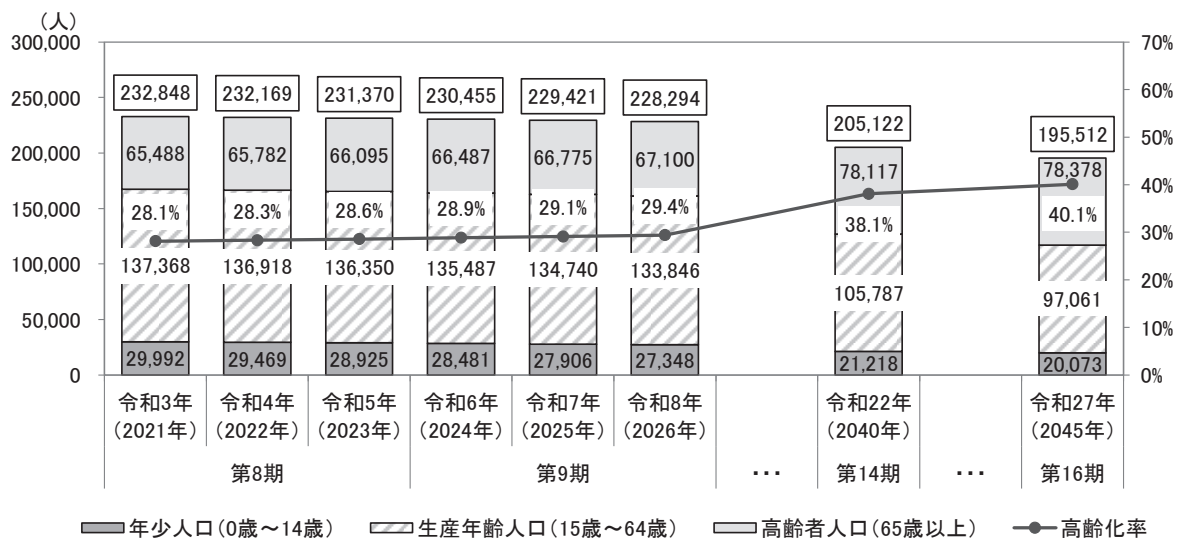
ア 人口構成の推移

将来人口構成の推計をみると、総人口は今後も減少傾向となり、令和5年（2023年）は231,370人と、令和2年（2020年）の233,397人から2,027人減少する見込みとなっています。その後も減少は続き、令和7年（2025年）では229,421人、令和22年（2040年）では205,122人となっています。

高齢化率は今後上昇していく見込みとなっており、令和5年（2023年）では28.6%、令和7年（2025年）では29.1%、更に令和22年（2040年）では38.1%となる見込みです。

単位：人

区分	第8期			第9期			第14期	第16期
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)
総人口	232,848	232,169	231,370	230,455	229,421	228,294	205,122	195,512
年少人口(0歳～14歳)	29,992	29,469	28,925	28,481	27,906	27,348	21,218	20,073
生産年齢人口(15歳～64歳)	137,368	136,918	136,350	135,487	134,740	133,846	105,787	97,061
高齢者人口(65歳以上)	65,488	65,782	66,095	66,487	66,775	67,100	78,117	78,378
高齢化率	28.1%	28.3%	28.6%	28.9%	29.1%	29.4%	38.1%	40.1%
総人口に占める75歳以上の割合	15.0%	15.8%	16.5%	17.3%	17.8%	18.2%	20.0%	22.6%



※資料：住民基本台帳人口に基づきコーホート変化率法で推計。

※「コーホート変化率法」は、同年に出生した集団（コーホート）の過去における実績人口の変化率に基づき将来人口を推計する方法。

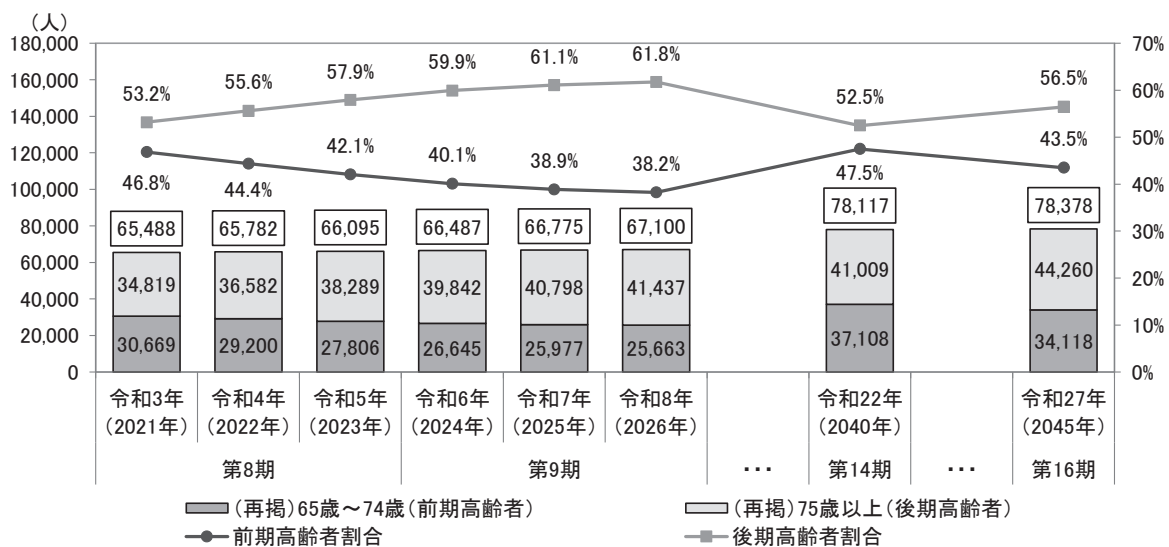
イ 高齢者人口の推移

高齢者人口の推移をみると、前期高齢者は今後も減少傾向、後期高齢者は今後も増加傾向となり、令和5年（2023年）では前期高齢者が27,806人、後期高齢者が38,289人となっています。令和22年（2040年）では前期高齢者、後期高齢者ともに令和5年（2023年）に比べ増加し、高齢者全体で78,117人になる推計となっています。

高齢者人口に占める前期高齢者、後期高齢者の割合は、令和8年（2026年）まで差が開き続け、以降は令和22年（2040年）までは差が縮まるように推移する見込みとなっています。

また、85歳以上人口をみると、令和22年（2040年）では17,630人まで増加する見込みとなっており、令和2年（2020年）の10,807人の約1.6倍となる見込みです。

区分	第8期			第9期			第14期	第16期
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)
高齢者人口(65歳以上)	65,488	65,782	66,095	66,487	66,775	67,100	78,117	78,378
(再掲)65歳～74歳(前期高齢者)	30,669	29,200	27,806	26,645	25,977	25,663	37,108	34,118
(再掲)75～84歳	23,373	24,564	25,776	26,997	27,465	27,361	23,379	27,789
(再掲)85歳以上	11,446	12,018	12,513	12,845	13,333	14,076	17,630	16,471
前期高齢者割合	46.8%	44.4%	42.1%	40.1%	38.9%	38.2%	47.5%	43.5%
後期高齢者割合	53.2%	55.6%	57.9%	59.9%	61.1%	61.8%	52.5%	56.5%



※資料：住民基本台帳人口に基づきコーホート変化率法で推計。

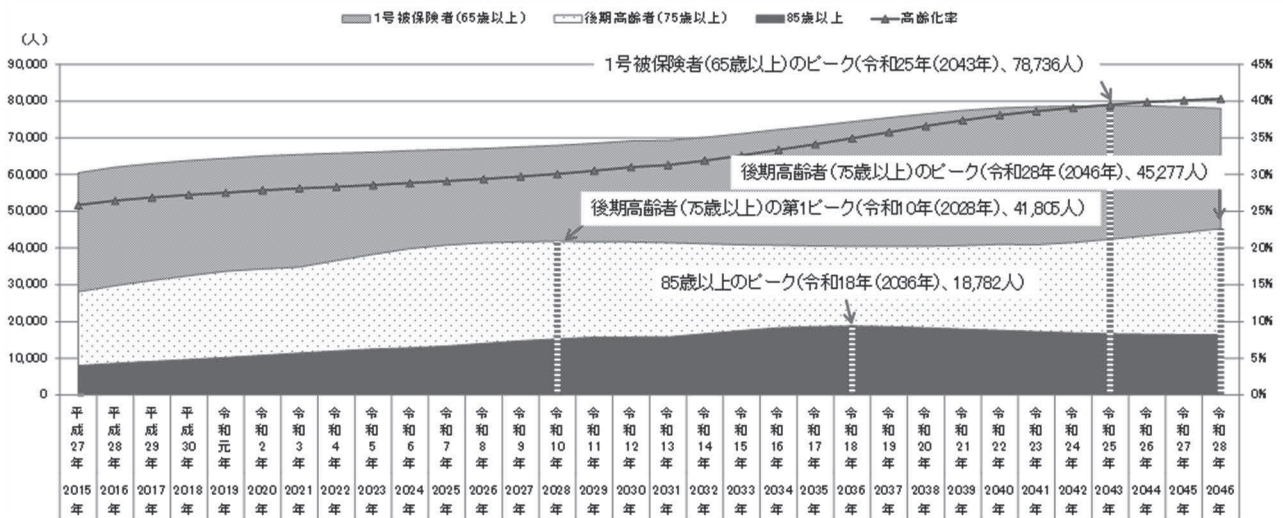
ウ 第1号被保険者数の推計

本市の第1号被保険者数の令和28年(2046年)までの推計値については、第1号被保険者数のピークは令和25年(2043年)となる見込みとなっています。

また、後期高齢者人口については令和10年(2028年)に一度ピークを迎えますが、令和20年(2038年)以降に再度増加に転じ、令和28年(2046年)に二度目のピークを迎える見込みとなっています。

85歳以上人口については令和18年(2036年)にピークを迎える見込みとなっています。

なお、高齢化率は今後、上昇し続ける見込みとなっています。



(4) 世帯数の推移

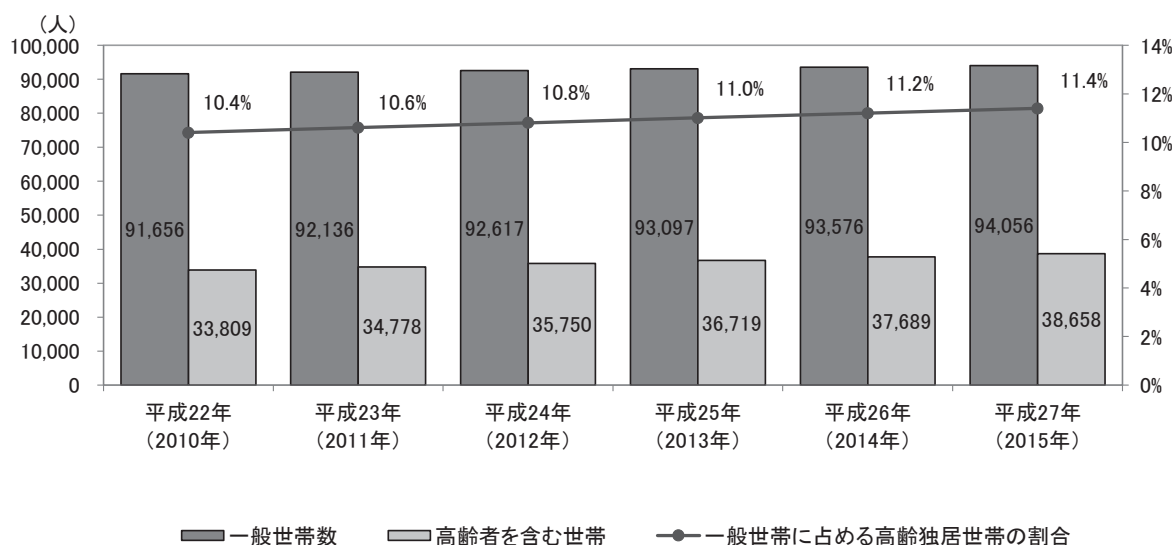
世帯数の推移をみると、一般世帯数は増加傾向にあり、平成27年(2015年)では94,056世帯と、平成22年(2010年)の91,656世帯から2,400世帯増加しています。

高齢者を含む世帯も増加傾向にあり、平成27年(2015年)では38,658世帯と、平成22年(2010年)の33,809世帯から4,849世帯増加しています。また、平成27年(2015年)では高齢独居世帯は10,726世帯、高齢夫婦世帯は11,928世帯となっています。

一般世帯に占める高齢独居世帯の割合も上昇し、平成27年(2015年)では11.4%となっています。

単位: 世帯

	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)
一般世帯数	91,656	92,136	92,617	93,097	93,576	94,056
高齢者を含む世帯	33,809	34,778	35,750	36,719	37,689	38,658
高齢独居世帯	9,537	9,775	10,013	10,251	10,488	10,726
高齢夫婦世帯	9,470	9,961	10,454	10,945	11,437	11,928
一般世帯に占める高齢独居世帯の割合	10.4%	10.6%	10.8%	11.0%	11.2%	11.4%



※資料: 総務省「国勢調査」 ただし、国勢調査は5年ごとの指標値のみが公表されているため、それ以外の年度については各指標値を直線で結んだ際に算出される推計値となっています。

※一般世帯数は、世帯総数から学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、矯正施設の入所者等から成る施設等の世帯を除いた世帯数。

※高齢者を含む世帯数は、一般世帯のうち、65歳以上の世帯員が1人以上いる世帯数。

※高齢独居世帯数は、高齢者を含む世帯のうち、世帯員が65歳以上の高齢者1名だけの世帯数。

※高齢夫婦世帯数は、世帯員が夫婦だけの世帯のうち、夫および妻の年齢が65歳以上の世帯数。

(5) 認知症高齢者数の推移

高齢化に伴い、認知症高齢者の人数も増加しており、令和22年（2040年）には、平成27年（2015年）よりも約1万人増加する見込みです。

単位：人

区分	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和22年 (2040年)
高齢者人口（推計）	60,506	65,042	66,775	78,117
認知症高齢者数推計Ⅰ	9,197	10,862	12,353	16,170
認知症高齢者数推計Ⅱ	9,378	11,382	13,355	19,217

※高齢者人口（推計）：住民基本台帳人口に基づきコーホート変化率法で推計。

※認知症高齢者数推計Ⅰ：下表の「2012年以降一定と仮定」の推定有病率を高齢者人口（推計）に掛けた数値。

※認知症高齢者数推計Ⅱ：下表の「2012年以降上昇と仮定」の推定有病率を高齢者人口（推計）に掛けた数値。

65歳以上の 認知症推定有病率	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和22年 (2040年)
2012年以降一定と仮定	0.152	0.167	0.185	0.207
2012年以降上昇と仮定	0.155	0.175	0.200	0.246

※資料：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」
（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業報告書）参照

2 要支援・要介護認定者数

(1) 要支援・要介護認定者数の推移

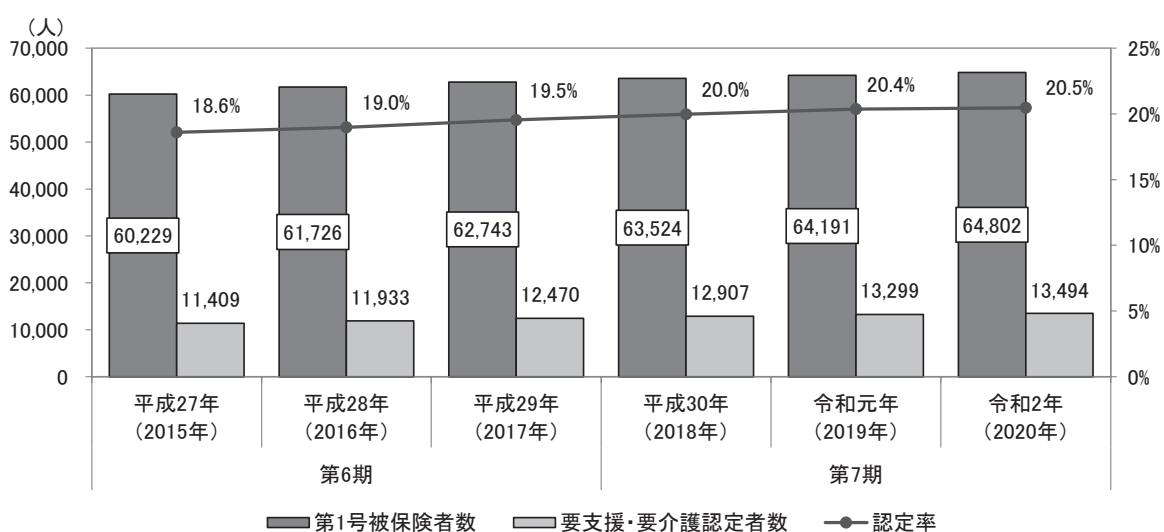
ア 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者数の推移をみると、第1号被保険者は一貫して増加傾向にあり、令和2年（2020年）では全体で13,494人と、平成27年（2015年）の11,409人から2,085人増加しています。

認定率も増加傾向で推移し、令和2年（2020年）では20.5%となっています。

単位：人

区分	第6期			第7期		
	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)
第1号被保険者数	60,229	61,726	62,743	63,524	64,191	64,802
要支援・要介護認定者数	11,409	11,933	12,470	12,907	13,299	13,494
第1号被保険者	11,205	11,714	12,265	12,689	13,073	13,262
第2号被保険者	204	219	205	218	226	232
認定率	18.6%	19.0%	19.5%	20.0%	20.4%	20.5%



※資料：厚労省「介護保険事業状況報告」（地域包括ケア「見える化」システムより） 各年9月末日現在

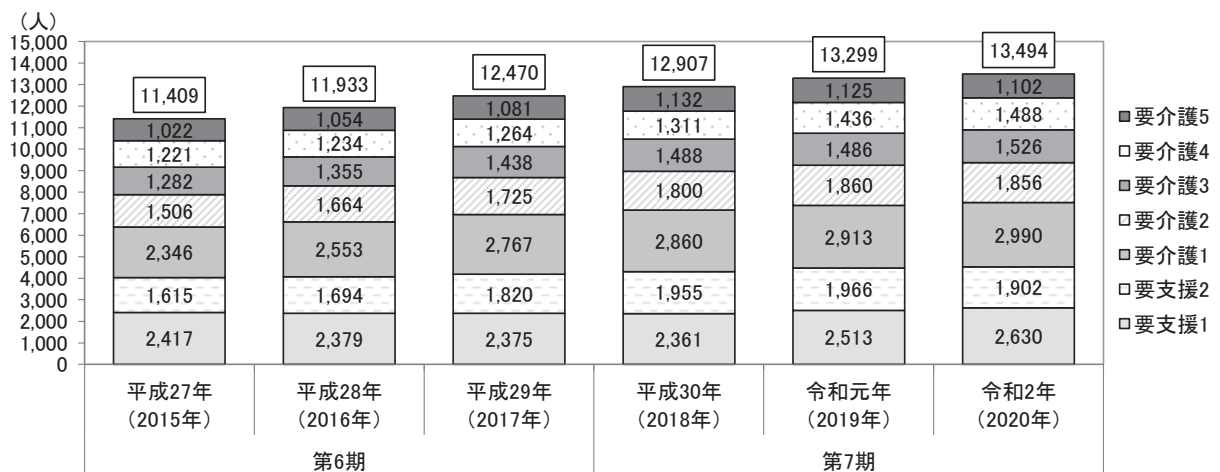
※本指標の「認定率」は、要支援・要介護認定者数（第1号被保険者）を第1号被保険者数で除した数。

イ 要支援・要介護認定者の内訳の推移

要支援・要介護認定者の内訳の推移をみると、いずれも増加傾向にあり、特に、要介護1は令和2年（2020年）で2,990人と、平成27年（2015年）の2,346人から644人増加しています。

単位：人

区分	第6期			第7期		
	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)
要支援・要介護認定者数	11,409	11,933	12,470	12,907	13,299	13,494
要支援1	2,417	2,379	2,375	2,361	2,513	2,630
要支援2	1,615	1,694	1,820	1,955	1,966	1,902
要介護1	2,346	2,553	2,767	2,860	2,913	2,990
要介護2	1,506	1,664	1,725	1,800	1,860	1,856
要介護3	1,282	1,355	1,438	1,488	1,486	1,526
要介護4	1,221	1,234	1,264	1,311	1,436	1,488
要介護5	1,022	1,054	1,081	1,132	1,125	1,102

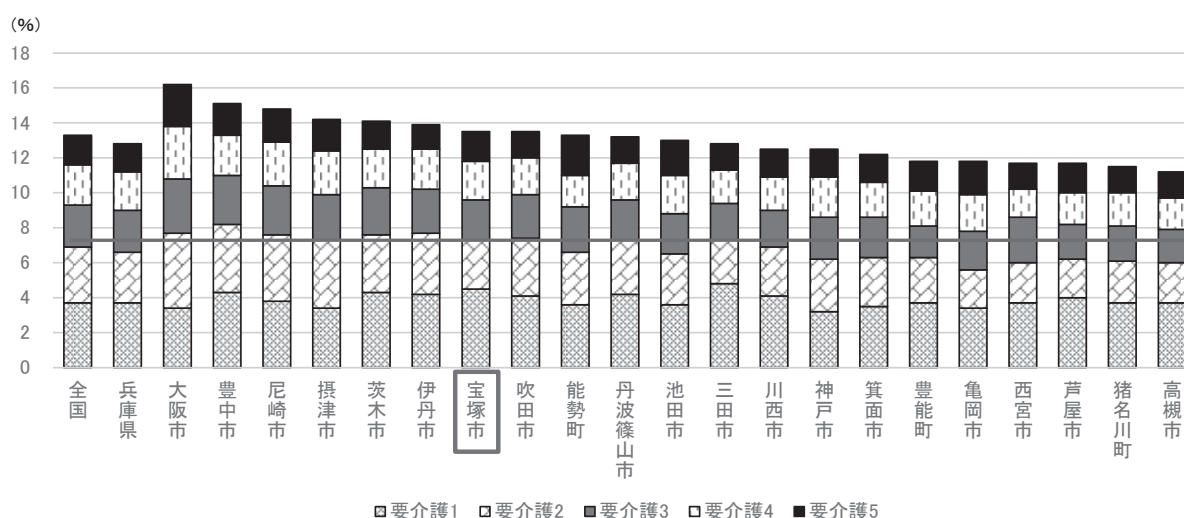
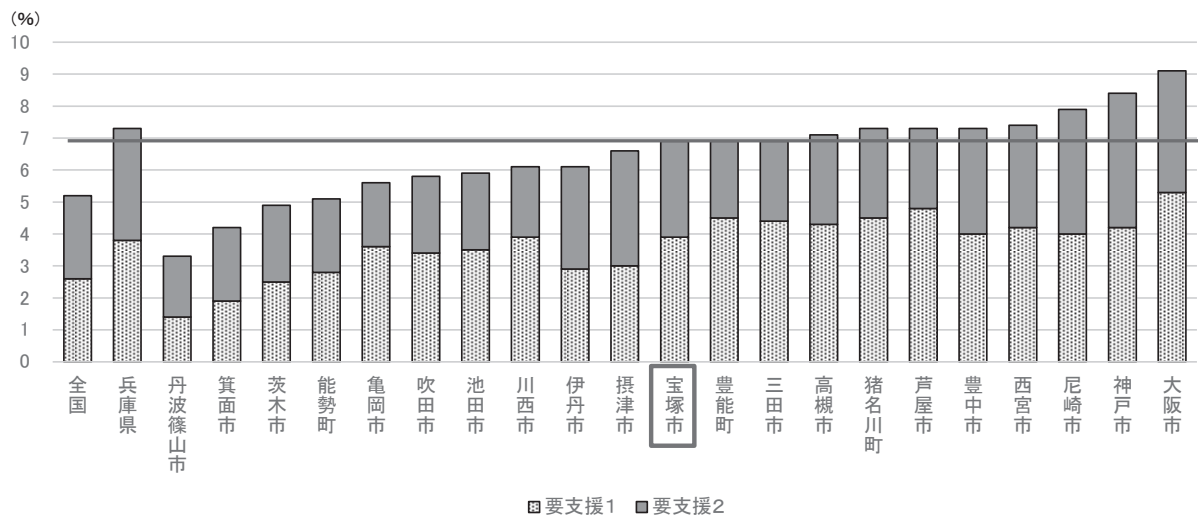


※資料：厚労省「介護保険事業状況報告」（地域包括ケア「見える化」システムより） 各年9月末日現在

ウ 近隣他市との調整済み要支援・要介護認定率比較

調整済み認定率についてみると、要支援1・2では本市は県平均と同程度となっていますが、全国平均と比べると調整済み認定率が高くなっています。

要介護1・2では全国平均・県平均と同程度となっていますが、要介護3以上では調整済み認定率が高くなっています。



※調整済み認定率…性・年齢構成を考慮しない（どの地域も全国平均と全く同じ第1号被保険者の性・年齢構成だったと仮定した）認定率。計算に用いる標準的な人口構造は平成27年（2015年）1月1日時点の全国平均の構成。たとえば第1号被保険者に占める後期高齢者の割合が全国平均よりも高い地域は、調整を行っていない認定率より調整済み認定率が低くなる傾向があります。

(2) 要支援・要介護認定者の推計

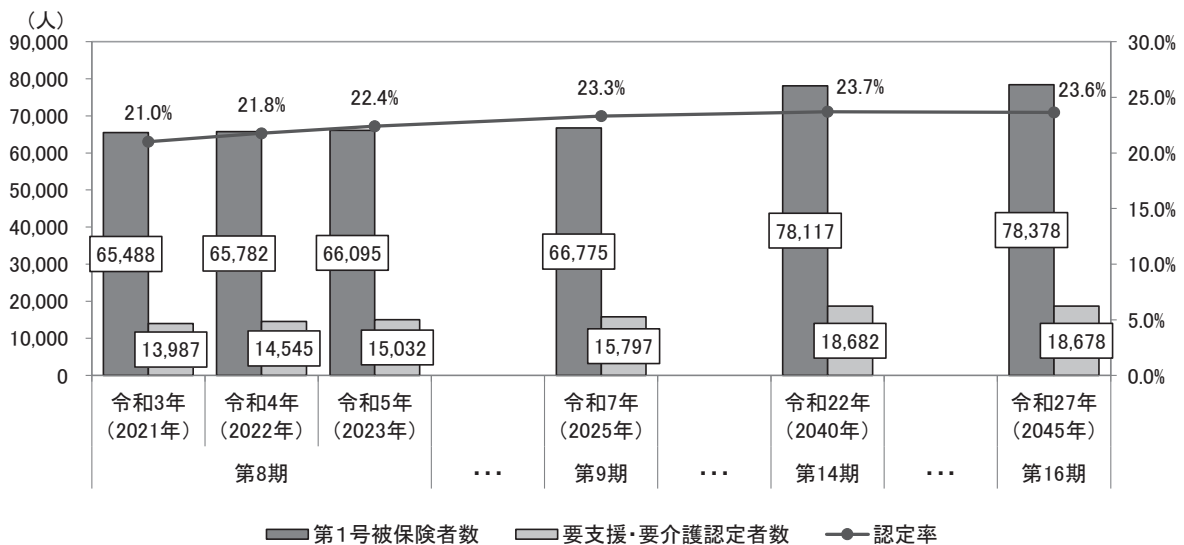
ア 要支援・要介護認定者数の推計

要支援・要介護認定者数の推計をみると、今後も増加傾向となり、令和5年(2023年)では15,032人と、令和2年(2020年)の13,494人から1,538人増加する見込みとなっています。その後も増加は続き、令和7年(2025年)では15,797人となっています。

認定率は、令和5年(2023年)では22.4%、令和7年(2025年)では23.3%となる見込みです。

区分	第8期			第9期	第14期	第16期
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和7年 (2025年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)
第1号被保険者数	65,488	65,782	66,095	66,775	78,117	78,378
要支援・要介護認定者数	13,987	14,545	15,032	15,797	18,682	18,678
第1号被保険者	13,755	14,313	14,800	15,565	18,515	18,527
第2号被保険者	232	232	232	232	167	151
認定率	21.0%	21.8%	22.4%	23.3%	23.7%	23.6%

単位:人



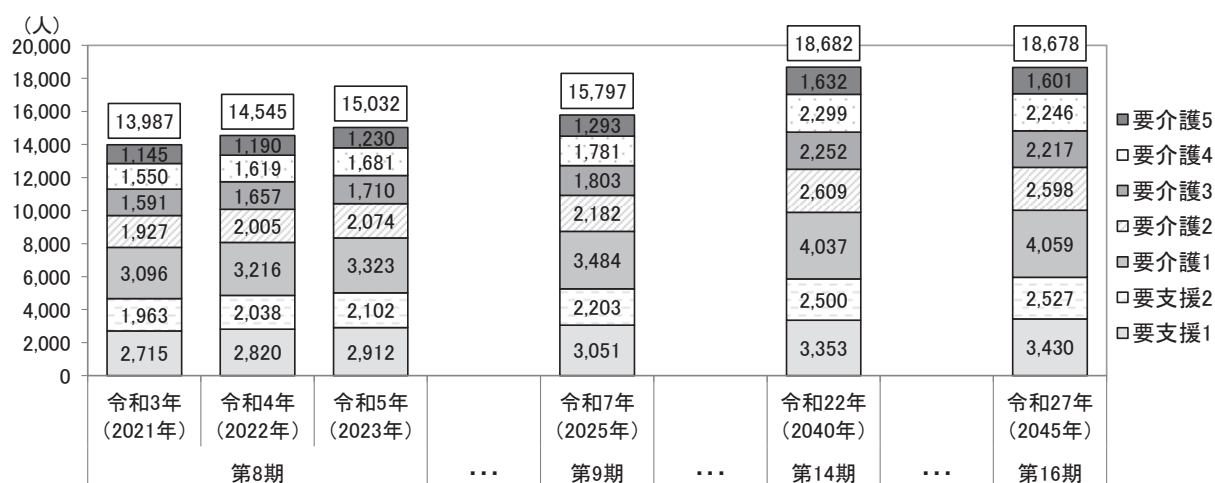
※資料：将来推計人口及び厚労省「介護保険事業状況報告」令和2年(2020年)9月月報をもとに推計。

(3) 要支援・要介護認定者の内訳の推計

要支援・要介護認定者の内訳の推計をみると、いずれの要介護度でも増加傾向にあります。特に、令和7年（2025年）にかけて要介護1が大きく伸びる見込みとなっており、令和2年（2020年）の2,990人から494人増加する見込みです。

単位：人

区分	第8期			第9期	第14期	第16期
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和7年 (2025年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)
要支援・要介護認定者数	13,987	14,545	15,032	15,797	18,682	18,678
要支援1	2,715	2,820	2,912	3,051	3,353	3,430
要支援2	1,963	2,038	2,102	2,203	2,500	2,527
要介護1	3,096	3,216	3,323	3,484	4,037	4,059
要介護2	1,927	2,005	2,074	2,182	2,609	2,598
要介護3	1,591	1,657	1,710	1,803	2,252	2,217
要介護4	1,550	1,619	1,681	1,781	2,299	2,246
要介護5	1,145	1,190	1,230	1,293	1,632	1,601



※資料：将来推計人口及び厚労省「介護保険事業状況報告」令和2年（2020年）9月月報をもとに推計。

3 日常生活圏域ごとの状況

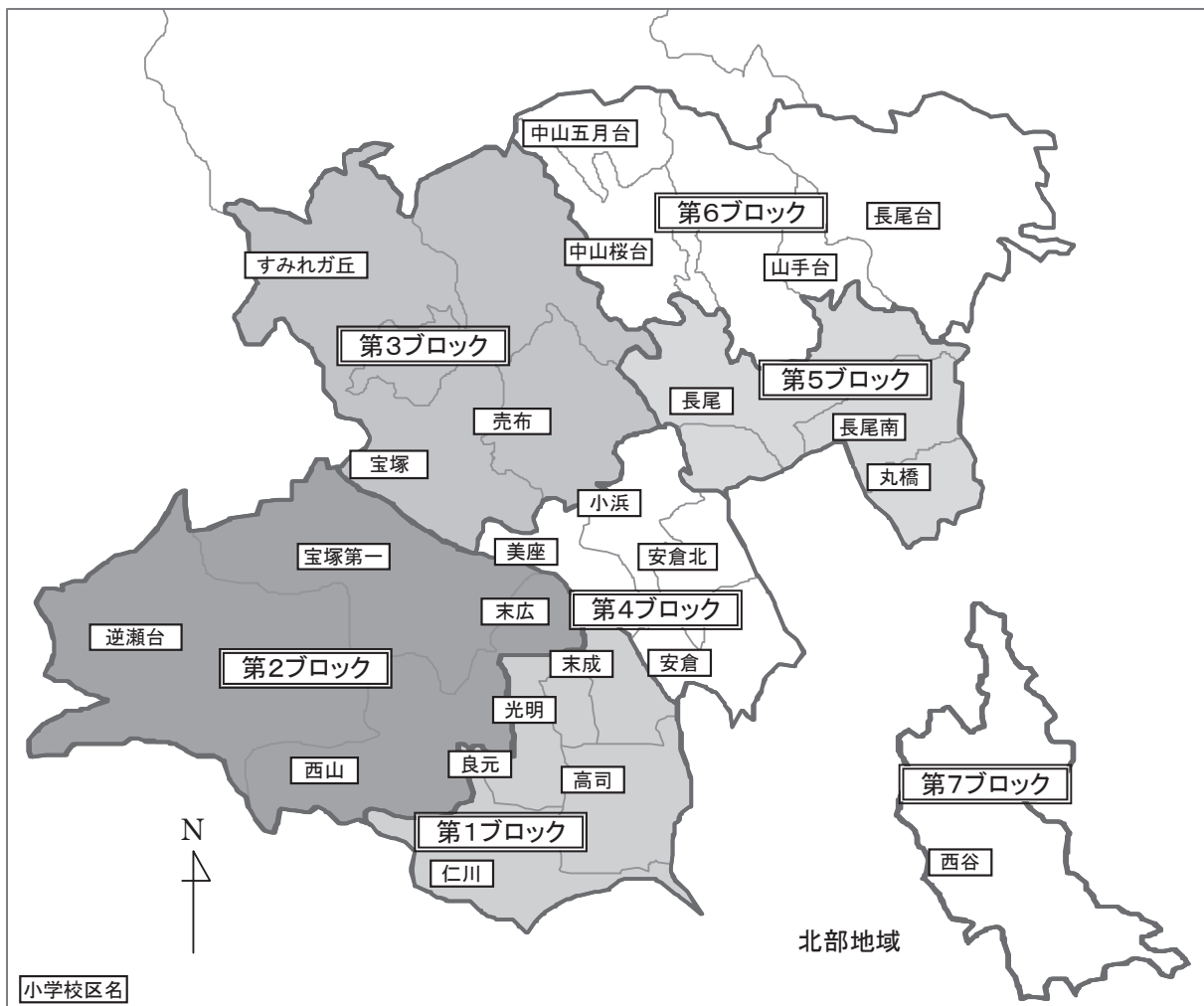
(1) 日常生活圏域の設定

介護保険事業計画では、介護を必要とする状態になってからも、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるよう、高齢者が日常生活を営んでいる地域を中心とし、必要な介護保険サービス等の基盤整備のあり方を明らかにするため、地域特性に応じた日常生活圏域を設定することとされています。

本市では、まちづくり活動等に基づく7つの地区・ブロックが定着し、その地区・ブロックを基本として高齢者施策を推進してきた経緯があり、人口規模や社会的条件等も総合的に勘案して、この7つの地区・ブロックを日常生活圏域と設定しています。

今後、在宅での生活を望む要介護・要支援高齢者が、地域でのつながりを失うことなく、必要な介護保険サービス等が継続的・包括的に提供できるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を推進していきます。

7つの日常生活圏域（地区・ブロック）



（２）日常生活圏域（地区・ブロック）の概況

7つの地区・ブロックのうち、最も人口規模の大きなブロックは、第2ブロックの48,455人（65歳以上人口14,848人）であり、最も人口規模の小さな地区・ブロックは、第7ブロックの2,130人（65歳以上人口966人）となっています。

また、高齢化率が最も高い地区・ブロックは、第7ブロックの45.4%であり、次いで、第2ブロックの30.6%となっています。

要介護・要支援認定率が高い地区・ブロックは、第7ブロックの24.1%であり、次いで、第4ブロックの23.0%、第1ブロックの22.1%となっています。

高齢化率、要介護・要支援認定率とも、第7ブロックが他の地区・ブロックより高い数値となっています。

本市の地域的な特徴として、高度成長期に開発されたニュータウンが人口急増期を経て、人口減少期に入るなか、「空き家問題」「老老介護」などの諸問題を抱えています。また、開発時期の異なるニュータウンが市内に点在しており、同様の問題が複数地域で起こる可能性があります。

本市の「まちづくり協議会」は、小学校区単位を基本として組織されており、その区域でみると、光明地域まちづくり協議会、逆瀬台小学校区まちづくり協議会、中山台コミュニティ、西谷地区まちづくり協議会の各区域で、高齢化率が40%前後と高い数値を示しています。一方、市街地農地を有する長尾地区まちづくり協議会などで、宅地化が進み、局地的な人口増が見られるなど、地域の特性を踏まえた課題の解決方法を考えていく必要があります。

日常生活圏域（地区・ブロック）の概要



日常生活圏域名	地域（小学校区名）
第1ブロック（小林）	仁川・末成・高司・良元・光明小学校区
第2ブロック（逆瀬川）	末広・宝塚第一・西山・逆瀬台小学校区
第3ブロック（御殿山）	宝塚・すみれガ丘・売布小学校区
第4ブロック（小浜）	小浜・美座・安倉・安倉北小学校区
第5ブロック（長尾）	長尾・長尾南・丸橋小学校区
第6ブロック（花屋敷）	山手台・長尾台・中山五月台・中山桜台小学校区
第7ブロック（西谷）	西谷小学校区

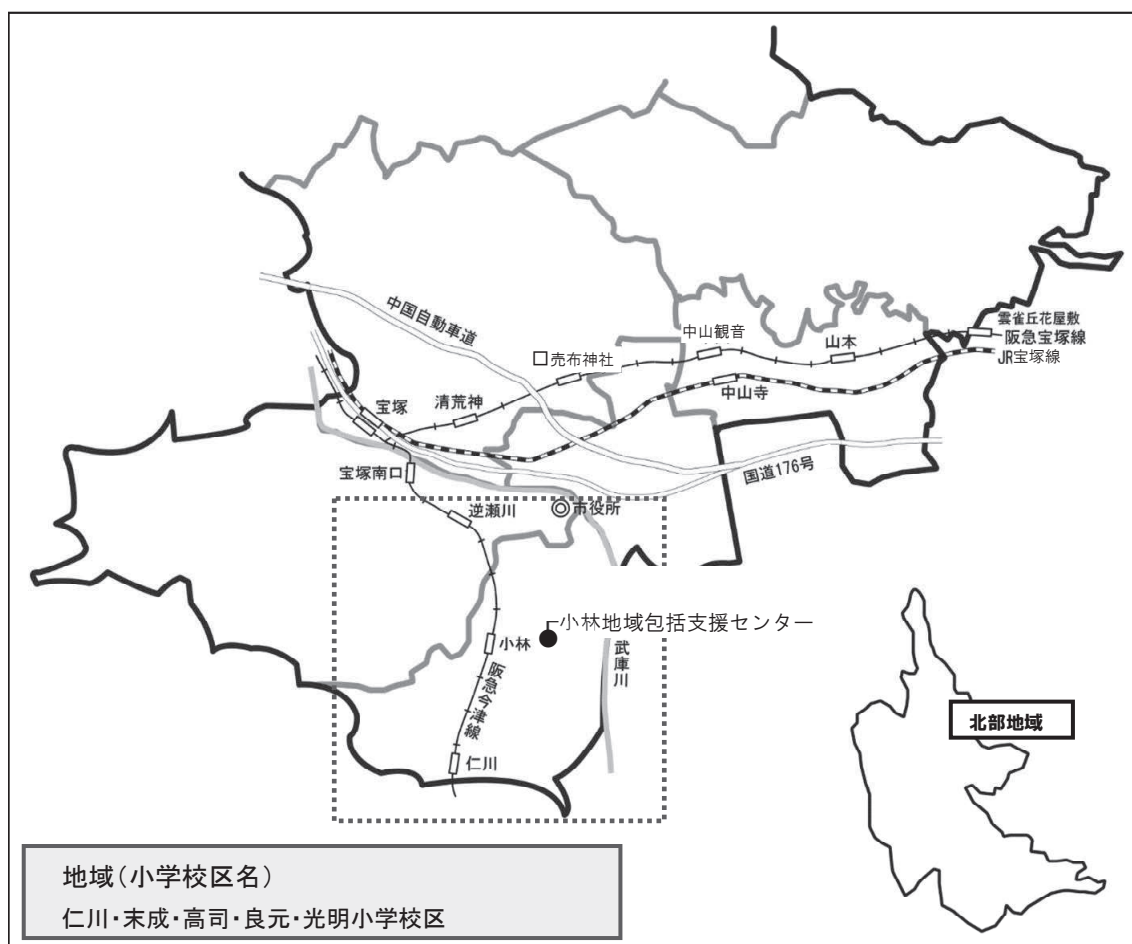
ア 第1ブロック

	市全体	第1ブロック	比較等	備考
総人口	233,397	40,563	17.4%	—
高齢者人口	65,042	12,157	18.7%	—
高齢化率	27.9%	30.0%	2.1%	—
認定率	20.8%	22.1%	1.3%	—

本ブロックは、六甲山系と武庫川に囲まれ、阪急今津線以西の山麓部と以東の平坦部で構成される地域です。

山麓部では、閑静な低層住宅地が形成され、良好なまちなみ景観を創出しています。

平坦部では、中低層の住宅地が形成され、商業施設も点在しています。また、武庫川沿いは、市内では数少ない工業地域として工場が立地していますが、近年は工場の流出により住宅地化が進んでいます。



〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査※による分析結果〕

社会活動への参加状況の項目では、スポーツ、趣味関係のグループ等に参加している割合が市全体より低くなっています。また、心と身体の健康の項目では、主観的幸福感の高い高齢者の割合が市全体より低くなっています。

<リスク判定>

項 目	市全体	ブロック
運動器機能の低下リスク高齢者の割合	14.6%	16.9%
低栄養リスク高齢者の割合	1.4%	1.3%
口腔機能の低下リスク高齢者の割合	23.7%	23.3%
閉じこもりリスク高齢者の割合	14.9%	15.4%
認知機能の低下リスク高齢者の割合	43.6%	44.1%
うつリスク高齢者の割合	39.2%	40.2%
IADLが低い高齢者の割合*	4.0%	4.7%
転倒リスク高齢者の割合	32.3%	30.7%

<社会活動への参加状況>

項 目	市全体	ブロック
ボランティア等に参加している高齢者の割合	13.3%	13.6%
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	26.1%	21.3%
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	34.4%	29.2%
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	12.7%	11.2%
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	5.8%	5.6%
老人クラブに参加している高齢者の割合	6.1%	6.2%
町内会・自治会に参加している高齢者の割合	21.5%	20.8%
収入のある仕事に参加している高齢者の割合	19.7%	19.7%

<地域や社会とのつながり>

項 目	市全体	ブロック
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	54.7%	53.1%
地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向のある高齢者の割合	30.9%	29.2%
知的能動性が低い高齢者の割合	13.9%	16.9%
社会的役割が低い高齢者の割合	32.6%	36.3%
認知症の相談窓口を知っている高齢者の割合	21.5%	20.2%
指定避難所に避難できない高齢者の割合	14.6%	12.2%

<心と身体の健康>

項 目	市全体	ブロック
主観的健康観の高い高齢者の割合	80.4%	79.3%
主観的幸福感の高い高齢者の割合	67.0%	62.3%

※日常生活圏域ニーズ調査では、各項目について複数の設問への回答を分析し、リスクに該当するかどうかの判定を行いました。

* IADLが低い高齢者：「一人での外出」「買い物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金の出し入れ」の質問項目のうち、2つ以上できないものがある人をいいます。

〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査※による分析結果〕

社会活動への参加状況の項目では、スポーツ、趣味関係のグループ等に参加している割合が市全体より高くなっています。また、心と身体の健康の項目では、主観的幸福感の高い高齢者の割合が市全体より高くなっています。

＜リスク判定＞

項 目	市全体	ブロック
運動器機能の低下リスク高齢者の割合	14.6%	14.2%
低栄養リスク高齢者の割合	1.4%	1.7%
口腔機能の低下リスク高齢者の割合	23.7%	23.1%
閉じこもりリスク高齢者の割合	14.9%	12.2%
認知機能の低下リスク高齢者の割合	43.6%	43.4%
うつリスク高齢者の割合	39.2%	37.5%
IADLが低い高齢者の割合*	4.0%	4.4%
転倒リスク高齢者の割合	32.3%	32.3%

＜社会活動への参加状況＞

項 目	市全体	ブロック
ボランティア等に参加している高齢者の割合	13.3%	11.8%
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	26.1%	29.4%
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	34.4%	38.9%
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	12.7%	15.5%
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	5.8%	5.7%
老人クラブに参加している高齢者の割合	6.1%	3.0%
町内会・自治会に参加している高齢者の割合	21.5%	19.3%
収入のある仕事に参加している高齢者の割合	19.7%	19.4%

＜地域や社会とのつながり＞

項 目	市全体	ブロック
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	54.7%	54.1%
地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向のある高齢者の割合	30.9%	32.7%
知的能動性が低い高齢者の割合	13.9%	11.7%
社会的役割が低い高齢者の割合	32.6%	29.0%
認知症の相談窓口を知っている高齢者の割合	21.5%	22.6%
指定避難所に避難できない高齢者の割合	14.6%	14.4%

＜心と身体の健康＞

項 目	市全体	ブロック
主観的健康観の高い高齢者の割合	80.4%	81.3%
主観的幸福感の高い高齢者の割合	67.0%	73.6%

※日常生活圏域ニーズ調査では、各項目について複数の設問への回答を分析し、リスクに該当するかどうかの判定を行いました。

* IADLが低い高齢者：「一人での外出」「買い物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金のお出し入れ」の質問項目のうち、2つ以上できないものがある人をいいます。

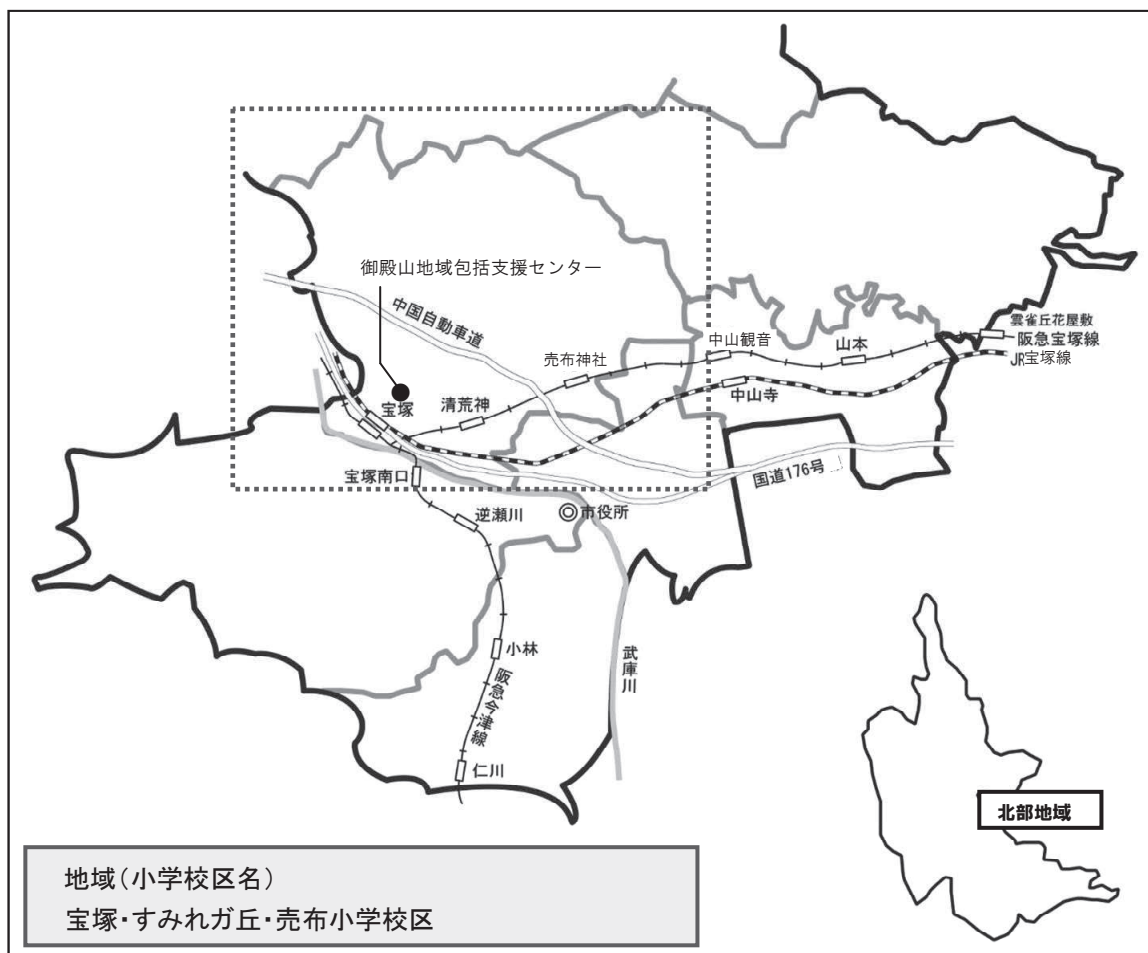
ウ 第3ブロック

	市全体	第3ブロック	比較等	備考
総人口	233,397	43,311	18.6%	—
高齢者人口	65,042	11,359	17.5%	—
高齢化率	27.9%	26.2%	-1.7%	—
認定率	20.8%	17.8%	-3.0%	—

本ブロックは、交通ターミナルとなる宝塚駅を始めとする鉄道駅周辺の都市部と阪急宝塚線以北の山麓部で構成される地域です。

宝塚駅周辺の都市部では、本市の商業、文化、行政、観光等の主要な施設が立地しています。

阪急宝塚線以北の山麓部では、売布神社、清荒神清澄寺等の歴史文化施設や市立の文化・福祉施設が立地しています。また、大正期の近代住宅が残る御殿山地区や、近年開発された低層住宅地、大規模集合住宅団地等の住宅地開発が進んでいます。



〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査※による分析結果〕

概ね市全体と同程度となっていますが、心と身体の健康の項目では、主観的幸福感の高い高齢者の割合が市全体より高くなっています。

<リスク判定>

項 目	市全体	ブロック
運動器機能の低下リスク高齢者の割合	14.6%	12.0%
低栄養リスク高齢者の割合	1.4%	1.2%
口腔機能の低下リスク高齢者の割合	23.7%	25.5%
閉じこもりリスク高齢者の割合	14.9%	12.7%
認知機能の低下リスク高齢者の割合	43.6%	43.3%
うつリスク高齢者の割合	39.2%	38.0%
IADLが低い高齢者の割合*	4.0%	3.3%
転倒リスク高齢者の割合	32.3%	31.2%

<社会活動への参加状況>

項 目	市全体	ブロック
ボランティア等に参加している高齢者の割合	13.3%	11.4%
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	26.1%	27.3%
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	34.4%	35.9%
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	12.7%	11.8%
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	5.8%	4.8%
老人クラブに参加している高齢者の割合	6.1%	3.4%
町内会・自治会に参加している高齢者の割合	21.5%	19.2%
収入のある仕事に参加している高齢者の割合	19.7%	19.0%

<地域や社会とのつながり>

項 目	市全体	ブロック
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	54.7%	53.7%
地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向のある高齢者の割合	30.9%	30.5%
知的能動性が低い高齢者の割合	13.9%	12.2%
社会的役割が低い高齢者の割合	32.6%	33.0%
認知症の相談窓口を知っている高齢者の割合	21.5%	22.5%
指定避難所に避難できない高齢者の割合	14.6%	16.9%

<心と身体の健康>

項 目	市全体	ブロック
主観的健康観の高い高齢者の割合	80.4%	81.3%
主観的幸福感の高い高齢者の割合	67.0%	70.3%

※日常生活圏域ニーズ調査では、各項目について複数の設問への回答を分析し、リスクに該当するかどうかの判定を行いました。

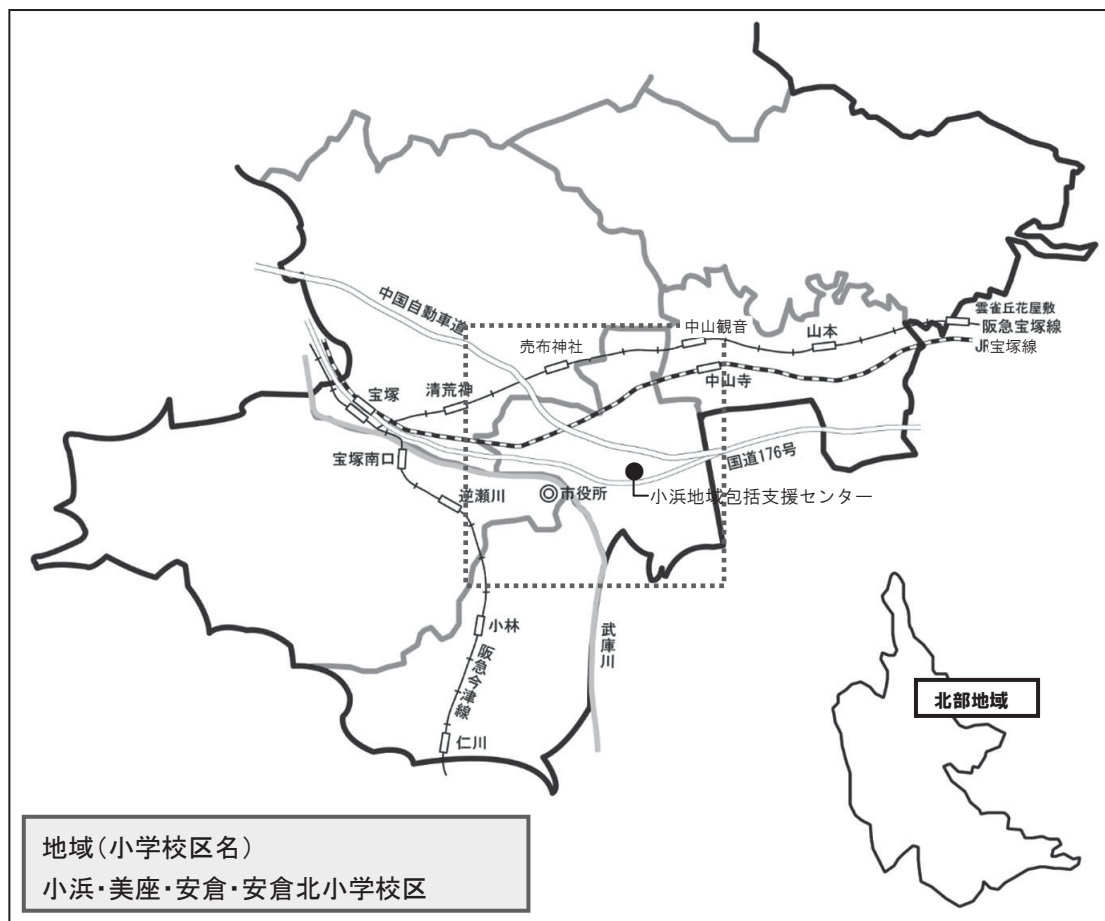
* IADLが低い高齢者：「一人での外出」「買い物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金のお出し入れ」の質問項目のうち、2つ以上できないものがある人をいいます。

エ 第4ブロック

	市全体	第4ブロック	比較等	備考
総人口	233,397	29,947	12.8%	—
高齢者人口	65,042	8,303	12.8%	—
高齢化率	27.9%	27.7%	-0.2%	—
認定率	20.8%	23.0%	2.2%	—

本ブロックは、武庫川左岸に位置し、概ね平坦地となっている地域です。

本ブロックの北部には、戦国時代には寺内町、近世には宿場町として栄えた小浜地区があります。また、国道176号や尼崎宝塚線沿いには商業施設等が立ち並び、そのほか、市立病院や総合福祉センター等の公共施設が立地しています。



〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査※による分析結果〕

社会活動への参加状況の項目では、趣味関係のグループに参加している割合が市全体より低くなっています。また、心と身体の健康の項目では、主観的幸福感の高い高齢者の割合が市全体より低くなっています。

<リスク判定>

項 目	市全体	ブロック
運動器機能の低下リスク高齢者の割合	14.6%	15.0%
低栄養リスク高齢者の割合	1.4%	1.2%
口腔機能の低下リスク高齢者の割合	23.7%	23.4%
閉じこもりリスク高齢者の割合	14.9%	15.2%
認知機能の低下リスク高齢者の割合	43.6%	42.6%
うつリスク高齢者の割合	39.2%	41.4%
IADLが低い高齢者の割合*	4.0%	4.1%
転倒リスク高齢者の割合	32.3%	35.1%

<社会活動への参加状況>

項 目	市全体	ブロック
ボランティア等に参加している高齢者の割合	13.3%	12.8%
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	26.1%	26.0%
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	34.4%	30.6%
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	12.7%	11.5%
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	5.8%	6.5%
老人クラブに参加している高齢者の割合	6.1%	6.2%
町内会・自治会に参加している高齢者の割合	21.5%	21.0%
収入のある仕事に参加している高齢者の割合	19.7%	20.6%

<地域や社会とのつながり>

項 目	市全体	ブロック
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	54.7%	55.8%
地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向のある高齢者の割合	30.9%	29.8%
知的能動性が低い高齢者の割合	13.9%	16.8%
社会的役割が低い高齢者の割合	32.6%	34.8%
認知症の相談窓口を知っている高齢者の割合	21.5%	21.0%
指定避難所に避難できない高齢者の割合	14.6%	13.2%

<心と身体の健康>

項 目	市全体	ブロック
主観的健康観の高い高齢者の割合	80.4%	77.5%
主観的幸福感の高い高齢者の割合	67.0%	56.7%

※日常生活圏域ニーズ調査では、各項目について複数の設問への回答を分析し、リスクに該当するかどうかの判定を行いました。

* IADLが低い高齢者：「一人での外出」「買い物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金のお出し入れ」の質問項目のうち、2つ以上できないものがある人をいいます。

〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査※による分析結果〕

リスク判定の項目では、閉じこもりリスク、うつリスク、転倒リスクの割合が市全体より高くなっています。社会活動への参加状況の項目では、ボランティア、スポーツや趣味関係のグループ等に参加している割合が市全体より低くなっている一方で、地域や社会とのつながりの項目では、地域づくりへのお世話役として参加意向のある割合が市全体より高くなっています。また、心と身体の健康の項目では、主観的幸福感の高い高齢者の割合が市全体より低くなっています。

<リスク判定>

項 目	市全体	ブロック
運動器機能の低下リスク高齢者の割合	14.6%	15.9%
低栄養リスク高齢者の割合	1.4%	2.1%
口腔機能の低下リスク高齢者の割合	23.7%	24.9%
閉じこもりリスク高齢者の割合	14.9%	19.0%
認知機能の低下リスク高齢者の割合	43.6%	42.9%
うつリスク高齢者の割合	39.2%	43.4%
IADLが低い高齢者の割合*	4.0%	4.2%
転倒リスク高齢者の割合	32.3%	35.4%

<社会活動への参加状況>

項 目	市全体	ブロック
ボランティア等に参加している高齢者の割合	13.3%	8.4%
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	26.1%	22.2%
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	34.4%	28.0%
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	12.7%	10.0%
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	5.8%	6.3%
老人クラブに参加している高齢者の割合	6.1%	7.9%
町内会・自治会に参加している高齢者の割合	21.5%	20.1%
収入のある仕事に参加している高齢者の割合	19.7%	18.5%

<地域や社会とのつながり>

項 目	市全体	ブロック
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	54.7%	54.5%
地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向のある高齢者の割合	30.9%	34.9%
知的能動性が低い高齢者の割合	13.9%	14.8%
社会的役割が低い高齢者の割合	32.6%	31.7%
認知症の相談窓口を知っている高齢者の割合	21.5%	23.8%
指定避難所に避難できない高齢者の割合	14.6%	15.3%

<心と身体の健康>

項 目	市全体	ブロック
主観的健康観の高い高齢者の割合	80.4%	79.9%
主観的幸福感の高い高齢者の割合	67.0%	60.3%

※日常生活圏域ニーズ調査では、各項目について複数の設問への回答を分析し、リスクに該当するかどうかの判定を行いました。

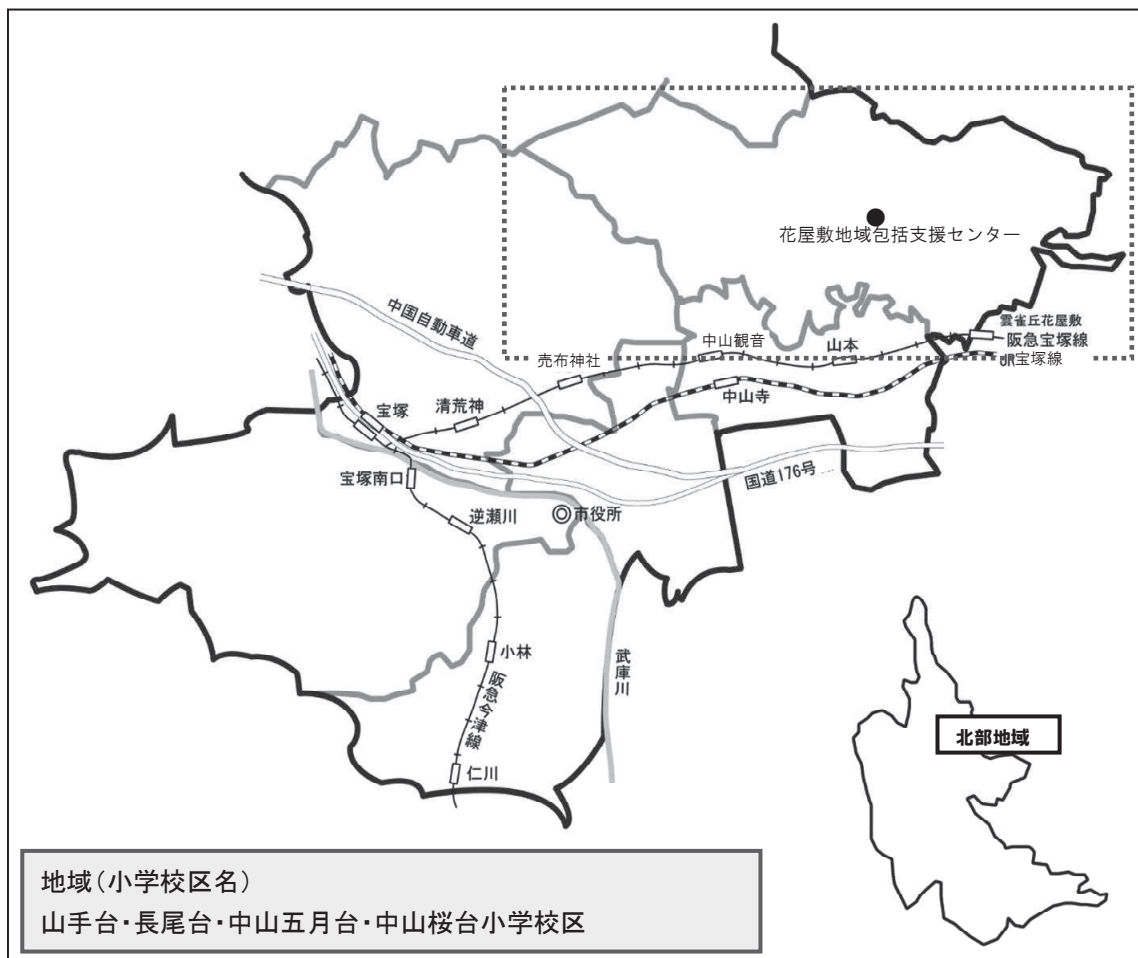
* IADLが低い高齢者：「一人での外出」「買い物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金の出し入れ」の質問項目のうち、2つ以上できないものがある人をいいます。

カ 第6ブロック

	市全体	第6ブロック	比較等	備考
総人口	233,397	31,046	13.3%	—
高齢者人口	65,042	9,471	14.6%	—
高齢化率	27.9%	30.5%	2.6%	—
認定率	20.8%	17.6%	-3.2%	市内最低

本ブロックは、長尾山系山麓の下部から中腹部にかけて緑豊かな近現代住宅地で構成される地域です。

大正初期から昭和初期に開発された雲雀丘地区、昭和40年（1965年）以降開発された中山台・中山桜台・中山五月台地区、近年も開発されている山手台地区等が存在し、住宅地が大きく広がっています。



〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査※による分析結果〕

社会活動への参加状況の項目では、ボランティア、スポーツや趣味関係のグループ等に参加している割合が市全体より高くなっています。また、心と身体の健康の項目では、主観的幸福感の高い高齢者の割合が市全体より高くなっています。

<リスク判定>

項 目	市全体	ブロック
運動器機能の低下リスク高齢者の割合	14.6%	12.1%
低栄養リスク高齢者の割合	1.4%	0.9%
口腔機能の低下リスク高齢者の割合	23.7%	23.5%
閉じこもりリスク高齢者の割合	14.9%	16.5%
認知機能の低下リスク高齢者の割合	43.6%	43.0%
うつリスク高齢者の割合	39.2%	36.7%
IADLが低い高齢者の割合*	4.0%	3.1%
転倒リスク高齢者の割合	32.3%	30.9%

<社会活動への参加状況>

項 目	市全体	ブロック
ボランティア等に参加している高齢者の割合	13.3%	16.9%
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	26.1%	29.9%
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	34.4%	40.6%
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	12.7%	14.2%
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	5.8%	5.6%
老人クラブに参加している高齢者の割合	6.1%	7.1%
町内会・自治会に参加している高齢者の割合	21.5%	22.9%
収入のある仕事に参加している高齢者の割合	19.7%	18.1%

<地域や社会とのつながり>

項 目	市全体	ブロック
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	54.7%	57.0%
地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向のある高齢者の割合	30.9%	28.9%
知的能動性が低い高齢者の割合	13.9%	10.5%
社会的役割が低い高齢者の割合	32.6%	30.2%
認知症の相談窓口を知っている高齢者の割合	21.5%	19.3%
指定避難所に避難できない高齢者の割合	14.6%	17.2%

<心と身体の健康>

項 目	市全体	ブロック
主観的健康観の高い高齢者の割合	80.4%	82.1%
主観的幸福感の高い高齢者の割合	67.0%	74.7%

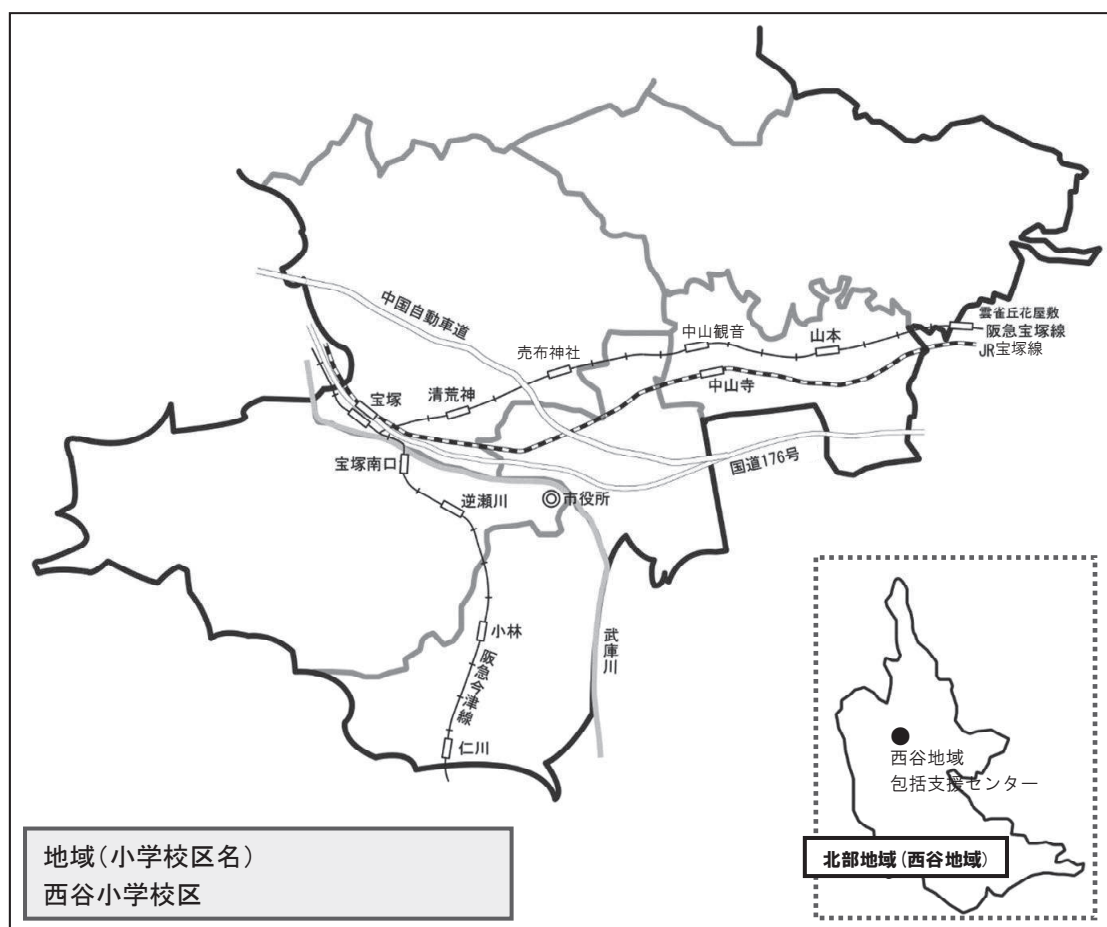
※日常生活圏域ニーズ調査では、各項目について複数の設問への回答を分析し、リスクに該当するかどうかの判定を行いました。

* IADLが低い高齢者：「一人での外出」「買い物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金の出し入れ」の質問項目のうち、2つ以上できないものがある人をいいます。

キ 第7ブロック

	市全体	第7ブロック	比較等	備考
総人口	233,397	2,130	0.9%	市内最少
高齢者人口	65,042	966	1.5%	市内最少
高齢化率	27.9%	45.4%	17.5%	市内最高
認定率	20.8%	24.1%	3.3%	市内最高

本ブロックは、本市の北部に位置し、市域面積の約3分の2を占め、山々に囲まれた盆地に営農地と集落地が広がる自然豊かな地域です。



〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査※による分析結果〕

リスク判定の項目では、多くの項目が市全体より高くなっています。社会活動への参加状況の項目では、ボランティア、老人クラブ、町内会・自治会、収入のある仕事に参加している割合が市全体より高くなっています。また、地域や社会とのつながりの項目では、地域づくりへの参加意向のある割合が市全体より高くなっています。

＜リスク判定＞

項 目	市全体	ブロック
運動器機能の低下リスク高齢者の割合	14.6%	19.5%
低栄養リスク高齢者の割合	1.4%	2.6%
口腔機能の低下リスク高齢者の割合	23.7%	20.8%
閉じこもりリスク高齢者の割合	14.9%	28.6%
認知機能の低下リスク高齢者の割合	43.6%	55.8%
うつリスク高齢者の割合	39.2%	42.9%
IADLが低い高齢者の割合*	4.0%	1.3%
転倒リスク高齢者の割合	32.3%	41.6%

＜社会活動への参加状況＞

項 目	市全体	ブロック
ボランティア等に参加している高齢者の割合	13.3%	29.9%
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	26.1%	22.1%
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	34.4%	32.5%
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	12.7%	11.7%
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	5.8%	14.3%
老人クラブに参加している高齢者の割合	6.1%	45.5%
町内会・自治会に参加している高齢者の割合	21.5%	62.4%
収入のある仕事に参加している高齢者の割合	19.7%	36.4%

＜地域や社会とのつながり＞

項 目	市全体	ブロック
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	54.7%	63.6%
地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向のある高齢者の割合	30.9%	48.1%
知的能動性が低い高齢者の割合	13.9%	14.3%
社会的役割が低い高齢者の割合	32.6%	22.1%
認知症の相談窓口を知っている高齢者の割合	21.5%	32.5%
指定避難所に避難できない高齢者の割合	14.6%	16.9%

＜心と身体の健康＞

項 目	市全体	ブロック
主観的健康観の高い高齢者の割合	80.4%	84.4%
主観的幸福感の高い高齢者の割合	67.0%	64.9%

※日常生活圏域ニーズ調査では、各項目について複数の設問への回答を分析し、リスクに該当するかどうかの判定を行いました。

* IADLが低い高齢者：「一人での外出」「買い物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金のお出し入れ」の質問項目のうち、2つ以上できないものがある人をいいます。

(3) 地区・ブロック別の人口推計

◆年齢区分別の人口推計結果（ブロック別）

（単位：人）

年 齢	令和2年 (2020年度)	令和3年 (2021年度)	令和4年 (2022年度)	令和5年 (2023年度)	令和7年 (2025年度)	令和22年 (2040年度)
第1ブロック	40,563	40,479	40,367	40,240	39,937	36,149
65～74歳	5,784	5,775	5,498	5,235	4,888	6,980
75～84歳	4,404	4,378	4,602	4,830	5,149	4,383
85歳以上	1,969	2,083	2,187	2,277	2,427	3,222
高齢化率	30.0%	30.2%	30.4%	30.7%	31.2%	40.3%
第2ブロック	48,455	48,391	48,305	48,197	47,879	43,203
65～74歳	6,584	6,577	6,260	5,957	5,560	7,931
75～84歳	5,473	5,472	5,752	6,029	6,414	5,459
85歳以上	2,791	2,936	3,082	3,210	3,422	4,541
高齢化率	30.6%	31.0%	31.2%	31.5%	32.2%	41.5%
第3ブロック	43,311	43,243	43,168	43,068	42,800	38,132
65～74歳	5,455	5,439	5,181	4,940	4,629	6,630
75～84歳	3,862	3,876	4,073	4,275	4,555	3,877
85歳以上	2,042	2,121	2,229	2,322	2,479	3,326
高齢化率	26.2%	26.4%	26.6%	26.8%	27.3%	36.3%
第4ブロック	29,947	29,837	29,715	29,578	29,278	26,252
65～74歳	4,055	4,047	3,853	3,670	3,430	4,903
75～84歳	3,037	2,991	3,143	3,301	3,523	3,000
85歳以上	1,211	1,306	1,371	1,427	1,520	2,003
高齢化率	27.7%	28.0%	28.2%	28.4%	28.9%	37.7%
第5ブロック	37,945	37,778	37,583	37,366	36,883	31,886
65～74歳	3,899	3,889	3,705	3,531	3,305	4,730
75～84歳	2,879	2,868	3,014	3,163	3,371	2,869
85歳以上	1,160	1,222	1,282	1,333	1,415	1,818
高齢化率	20.9%	21.1%	21.3%	21.5%	21.9%	29.5%
第6ブロック	31,046	30,986	30,895	30,784	30,509	27,427
65～74歳	4,484	4,481	4,264	4,056	3,778	5,384
75～84歳	3,523	3,455	3,630	3,811	4,062	3,458
85歳以上	1,464	1,598	1,678	1,746	1,859	2,435
高齢化率	30.5%	30.8%	31.0%	31.2%	31.8%	41.1%
第7ブロック	2,130	2,134	2,136	2,137	2,135	2,073
65～74歳	461	461	439	417	387	550
75～84歳	335	333	350	367	391	333
85歳以上	170	180	189	198	211	285
高齢化率	45.4%	45.6%	45.8%	46.0%	46.3%	56.3%